

2019年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

学校法人長野県理容美容学園

第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和元年8月 7日（水）10：30～12：30

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：(株)アルファ代表取締役 杉山 一真先生

(有)早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生

松林校長・吉川事務局長・柏原教務主任・桐山広報企画部長

松林校長より 今年度、先生方のご協力のおかげで、職業実践専門課程認定校の許可を頂くことが出来心から感謝申し上げます。認定校としての責任を感じ、気を引き締めていき、学生の満足度を向上し、魅力ある学校にしていきたいので、引き続きご協力宜しくお願い致します。

【議題】

1. 令和元年度第1回自己評価委員会報告

令和元年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和元年度中間報告として、教育理念の2項目・学校運営4項目・教育活動の5項目・教育成果3項目・学生支援3項目・学生募集と受け入れ3項目・法令等の順守2項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告。

評価4を、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

項目と、全項目の周知すべき点の報告を行った。

（基準1） **総括** 美容科は職業実践専門課程の認定校として、産学連携の授業内容により実践的な、卒業後即役に立つ技術を習得できるカリキュラム編成となった。

ビューティビジネス科もブライダルの専門知識を学ぶ授業を組み入れることにより、幅広いビューティビジネス業界で活躍できるカリキュラムとなった。

- ・美容科が職業実践専門課程の認定校として認定された。
- ・美容科授業に連携企業の現役美容師や各種スペシャリストを委託。1学年では昨年度より取り入れたカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただいた。2学年ではより深くまで習得できるようにパーマ・アップセット・ネイル・メイクのうち、2課目の選択をして授業を行った。
- ・ビューティビジネス科で新たにブライダルに特化した技術習得カリキュラムを導入した。
ブライダルプランナー全員合格。
- ・人材育成のために教育の方針をより具体化し、笑顔・挨拶・感謝の気持ちを持ち「おもてなしの心」で丁寧な接客ができるような学生を育てていく。
- ・「あなたが誰かの夢になる」をキャッチコピーにあげ、職業人として社会・業界に貢献できる心豊かな人材の育成を進めている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・きちんとした理念のもと考えてもらえているので、現状維持でよいのでは。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・選択授業は、学生たちの反応も良いので継続して行ってほしい。課題のある点においては、前向きに改善していきたい。

今後の改善方策

- ・今年度以上の結果が出せるよう、職業実践専門課程認定校として、教育内容を検討していく。

(基準2) **総括** 2019年度より実施している職員の「働き方改革」により、現況の見直し、検討、改善に向けての取り組みが開始された。併せてそれによる学生指導についても工夫して指導にあたっている。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・働き方改革に伴い、練習時間は短くなっているのか？

学校より

- ・働き方改革以前より、指導方法の工夫を行っていたため、大きな問題はなく進められている。コンテスター以外の学生に対しての指導が手薄になっていたが、合同居残り練習として、職員が分担して指導を行っている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・分担制にする利点はあったのか？

学校より

- ・練習時間が短くなった分、積極性は出てきていると感じている。合同練習により、目の届かない学生に対し、フォローすることが出来た。しかし、いろいろなレベルの学生が集まっているため、不足部分も課題である。長期休業中の補習授業を実施し、フォローしている。

今後の改善方策

- ・働き方改革により、指導面で不足が出ないように、時間の使い方・分担制等工夫をしていきたい。

(基準3) **総括** 職業実践専門課程を取得する取り組みとして、5課目の産学連携授業を開始し、内容の濃い指導を行っている。

- ・平成31年度からの美容科2年次選択授業を始めた。
- ・平成31年度からのNPO法人日本福祉協会による福祉理美容師の資格取得のためのカリキュラムを導入
- ・各科目の詳細な授業内容については、一人ひとりの理解度を高めるために、学生の学力や性質によってクラス分けを実施しているが、クラスの個性により若干理解の差が生じてしまう。定期的に学年会を行い外部講師と相談しながら調整し、差が生じないようにしている。
- ・精神面における学生指導においては、ベテランの職員ですら年々難しくなっている。メンターとしてのスキルを上げていく講習会を実施。
- ・成績評価は明確に行っているが、『美容師免許』『日本エステティック協会認定上級エステティシャン』など独自の資格取得システムを目的とするため、一般的な基準としても明確化していく。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・精神面における学生指導の問題点は？

学校より

- ・カウンセラーの導入・姉妹学級などを実施することにより、退学率の低減につながっているとは感じているが、クラス内の居心地の悪さなどから、結論をだしてしまう前に、声掛けを密にしていきたい。

今後の改善方策

- ・学校支援サロンの高橋先生からの紹介で、教職員がメンターの講習を受講したので、今後の学生指導に活かしていきたい。

(基準4) **総括** 教育環境向上のため、資格取得の向上・きめ細やかな学生指導・産学連携の強化を実施した。

- ・平成30年度美容師国家試験96.8%及び日本エステティック協会認定エステティシャン試験の合格率100%達成を果たしている。
- ・令和元年6月に行ったサービス接遇検定の合格率80%
- ・様々な状況で、退学者2名、休学者4名となっている。家庭との連絡を密に取り合い、休退学者が出ないように努力していく。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・いろいろな考え方の学生が居て、先生方も大変だと理解している。退学者を出してしまった担任の先生へのフォローも大切にしていってほしい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・いろいろな学生が居て大変だと思うが、サポート体制の強化が必要な時代である。

今後の改善方策

- ・休退学者が出ないように、学生満足度を上げ、本校は高校からリセットして再スタート出来る学校として、今後も継続して、姉妹学級や、学年・クラスの枠を超えて学校全体で学生をフォローできる教育環境づくりに力を入れていく。

(基準5) **総括** 働き方改革についての説明を実施しており、業界全体の向上を依頼している。

- ・今年度より施工されている働き方改革に伴う労働条件等、変更事項を就職ガイダンス時にサロン側に配布し、理解を促した。
 - ・働き方改革実施に伴い、資料を作成し説明を実施している。
 - ・コンテストに関わることにより、忍耐力や研究心が育まれるため、沢山の学生にチャレンジさせていきたい。理美容甲子園・エステティックコンテスト以外の様々なコンテストの情報を提供し、チャレンジしていく気持ちを育てていきたい。
- 卒業生も多く、指導に来てもらっている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・コンテストの成績がよく良かった。先生方の努力の結果である。今後も引き続き、伝統となっていってほしい。卒業生もうまく活用していってほしい。
- ・働き方改革の余波も心配している。業界の在り方も変化している時代である。育てられないサロンが増えてきているのでは。学校として、きちんと学生の就職先を見極めて指導してほしい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・人材育成の難しさを感じているサロンが増えてきているように、感じている。

今後の改善方策

- ・学校としては、働き方改革が、美容業界の向上となる美容師として即戦力となる学生を育成し、教育内容の充実を図る。美容師を目指す高校生を増やす良い機会になる様、方策を検討していく。

(基準7) **総括**: 今後より一層、学生募集状況は厳しくなると考えている。本学園の魅力を正確に伝える事と、時代に合った広報活動を実施していく。

- ・学園HPの充実の一環として、明確な学校の情報を配信するため、インスタグラムを実施している。学園専用のiPadを購入。31年度に向けて、高校生と直接情報を交換できるLINE@を開始できるよう準備を始めている。年々、入学辞退者増加。個人情報取得が困難になってきているので、インスタ・LINE@を有効活用していく。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・学生募集の厳しい時代であるが、伝統校としての誇りを持ち、学費表示方法・オープンキャンパスの在り方など、時代をキャッチし検討して行ってほしい。県外流出を防ぐ手立てをしていくべきである。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・事前の情報・イベントの事前告知・アプローチ方法を再検討すべきでは。高校生が興味を持ってもらえる内容にしていくべきである。業界の協力も必要なのでは。

今後の改善方策

- ・オープンキャンパスの回数を増やしていくか、内容をより魅力あるものにしていくために、検討していく。
- ・服飾科のある高校にヘアメイクを手伝えることをアプローチしていきたい。

(基準9)

- ・全職員が重点目標に対し理解を高めて、自己評価し問題解決に向かっている。
- ・定期的に自己評価委員会及び関係者員会を実施し、定期的に自己評価を行い、随時公開していく。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

2. 重点目標について (別紙1参照)

令和元年度重点目標中間報告として、現時点で令和元年度重点目標の実施状況の報告

① 教育活動 ②学生支援 ③学生募集

- ・美しい人間関係を軸とし、整理・整頓・挨拶・礼儀を身につけられるよう、教職員の協力体制の強化。学生個々にしっかりと向き合い指導していく。
- ・教職員の統一指導と技術向上のため、姉妹学級・情報交換を密に行っていく。
- ・学生が楽しみながら、学べる環境づくりを心がける。満足度を向上することが、自分の選んだ道が正しいと思え、前向きに学校生活を送ることが出来るのでは。
- ・学生が学校生活を円滑に送り、相談しやすい環境づくりをするため、カウンセリングの実施。さまざまな学生に対応できるよう、今後、接客業・ホスピタリティの講習を行っていきたい。
- ・地元校としての伝統を誇りに、高校との信頼関係を継続していけるよう、在校生に母校訪問をさせ、現況報告を実施している。各イベントについても、学生満足・保護者満足・地域貢献することが出来、良い機会となった。
- ・HPに卒業生の活躍状況を積極的に掲載していく。改善をし、良い情報を発信していく必要がある。

① 教育活動について

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・挨拶・整理整頓など、すごく向上してきていると感じている。やり続けることは難しいと思うが、意味合いをきちんと理解させ継続することが大切である。
- ・バディの在り方まで気を使っていて大変。人間関係についての、アンケートを共有するためにも実施した方がよいのでは。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・大事なことなので、継続して行ってほしい。

② 学生支援について

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・カウンセリング講師を検討すべきである。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・カウンセリングの在り方を工夫していくべきでは。講師の先生から声掛けしてもらうことも必要なのでは。

③ 学生募集について

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・いろいろと大変だと思うが前向きに取り組む続けることで、変化していけるのでは。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・中学生の職場体験に学校支援サロンを活用してみてもは。ナガコレ先生など上手に活用していくことで、相乗効果になっていくのでは。学校パンフレットも配布することが出来る。

今後の改善方策

- ・職業実践専門課程認定校として、質の高い学校となるよう、また、学校の特色づくりに力を入れ、重点目標を中心に、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

3. 次回予定 第2回学校関係者評価委員会 令和元年3月11日(水) 10:30～